

活動組織の名称 ※ふりがなを忘れずに!		ながれかわかんきょうほげんくみあい 流川環境保全組合		
所在地		福岡県うきは市浮羽町流川地内		
取組開始年度		共同活動	平成19年度	向上活動
協定の対象となる資源				
農用地	地目	田 (a)	畑 (a)	計 (a)
	協定農用地面積	1,623	4,293	5,916
	対象農用地面積	942	3,920	4,862
	農業用施設	開水路 (km)	パイプライン (km)	農道 (km)
	3.0	—	5.0	2
農村環境向上活動 (H23まで)として実施した取組 ・設定したテーマにO印	設定したテーマ	実践活動項目		(取組内容を具体的に)
	①生態系保全	生態系保全に配慮した施設の適正管理 放流・植栽を通じた在来生物の育成		・ホタルが生息出来る水路の整備、維持管理
	②水質保全			
	③景観形成・生活環境保全	環境形成のための施設への植栽等 施設等の定期的な巡回点検・清掃		施設への花植栽 施設の点検と清掃
	④水田貯留機能増進 ・地下水かん養			
⑤資源循環				
地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・流川地区は、うきは市役所の南東部に位置し、果樹を中心とした営農が盛んな農業地域である。 ・本地区では従来、農家・非農家が共同で地域活動を実施してきたが、近年、農家戸数の減少と地区外からの非農家の流入により混住化が進み、地域活動に対する意識が希薄化してきた。 ・そのため、農業用水路や農道、ため池等の適正な維持管理が困難となってきた。 			
活動や取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者・自治会・老人会・子供会が一体となって、農村環境を保全していく。 ・地域内の施設については、きめ細やかな維持管理を行い、地域の資源として次世代に引き継ぐ。 			
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今年はずかではあるが、ホタルが見られたことから、住民の環境に対する意識が高まりつつある。しかし見物客による路上駐車やごみの不法投棄が目立つようになるなど新たな課題も出てきた。 ・当初は若年層の参加が少なく、地域の合意形成も難しかったが、子供会による活動を実施したこととをきっかけに保護者の参加が増え、世代間を超えた地域ぐるみでの活動が進めやすくなった。 ・農業従事者の高齢化や担い手の確保が喫緊の課題となっている。 			
取組を実施するにあたってのキーワード (5つ以内)	・「明るく楽しい集落づくり」・「ホタル」・子供の活動への参加・世代間の交流・学校教育との連携			
将来の夢・展望	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の農業の担い手を育成するため、子供が参加出来る農業体験や環境保全活動を実施し、農業や環境の大切さと、自然に親しむ心を育てていく。 ・また、今後の活動も地区内の農業者だけでなく、非農業者の方々や連携を回り、地域ぐるみで共同活動を実践し、地域の発展に努めるとともに、この美しい田園風景を子孫に残していく。 			
県内位置図	主な活動状況の写真			
				
(写真について簡単な説明)	水路の泥上げ	水路の草刈	ホタルが生息出来る水路の整備	